

アンケート結果のご報告

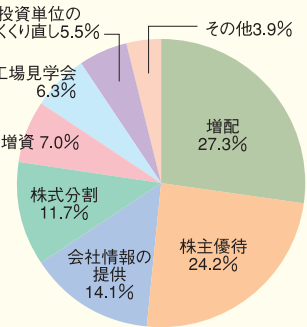
6月28日に定時株主総会の決議ご通知に同封して、3月末時点の株主の皆様にはアンケートをお送りいたしました。アンケートには**74**名の株主の皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの結果につきまして、一部をご報告申し上げます。

- 調査対象:全株主 1,075 名
- 調査方法:決議通知に同封 (平成19年6月28日発送)
- 調査期間:平成19年6月29日～平成19年7月31日
- 集計対象ハガキ:74枚
- 返送率:6.9%

Question&Answer (一部抜粋)

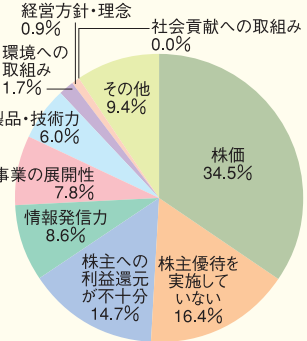
Q. 当社に対して期待されていることは何ですか? (複数回答可)

Ans.



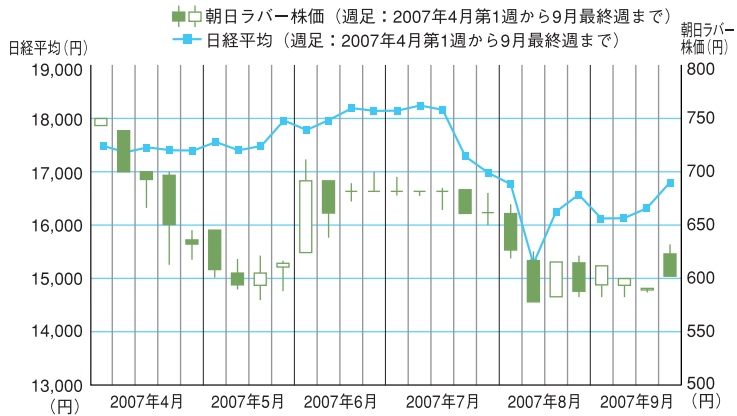
Q. 当社にご不満があるとすれば、どのような部分でしょうか? (複数回答可)

Ans.



貴重なご意見をありがとうございました。
今後のIRの課題として、株主の皆様のご支持をいただけるよう努力してまいります。

マーケット(市場)動向



5月 会社の合併に際し、消滅会社の株主への対価として、その親会社の株式を交付する「三角合併」が解禁。 <5/1>

当社決算発表 <5/24>

6月 当社株主総会開催 <6/28>

7月 新潟県を中心に、震度6強の地震(新潟県中越沖地震)が発生し、自動車の生産ラインがストップするなどの被害が発生。 <7/16>

第21回参議院選挙の投票が行われ、自由民主党・公明党が惨敗。民主党は獲得議席を大幅に伸ばし、参議院の第一党に。 <7/29>

8月 当社個人投資家向け会社説明会「ブリッジサロン大阪」開催 <8/4>

米・サブプライムローン問題から端を発した世界的な金融不安を背景に、日経平均株価は前日比874円下落。2000年4月以来、最大の下げ幅に。 <8/17>

9月 安倍内閣の退陣に伴い、福田康夫自民党総裁が第91代の首相に就任。同日に、自民党、公明党連立の新内閣を組閣。 <9/25>

金融商品取引法施行。投資家保護の強化を目的に、証券取引法を抜本改正し、金融商品や金融サービス業者を横断的に規制、特定投資家制度(プロ・アマ制度)を導入。 <9/30>

株式の状況 (平成19年9月30日現在)

発行済株式の総数 4,618,520株

(注) 発行済株式の総数は、新株予約権の行使により、前期末に比べ36,500株増加いたしました。

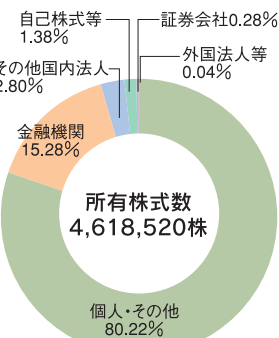
株主数 1,236名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
伊藤 藤 廠	1,054,528株	23.2%
株式会社南日本銀行	222,500	4.9
室井 豊	134,500	3.0
朝日ラバー従業員持株会	114,028	2.5
株式会社武蔵野銀行	113,000	2.5
資産管理サービス信託銀行株式会社(金融信託課)	107,500	2.4
朝日ラバー共栄持株会	103,000	2.3
株式会社東邦銀行	97,400	2.1
伊藤 潤	83,000	1.8

(注) 出資比率は自己株式(63,824株)を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況



JASDAQ (証券コード:5162)

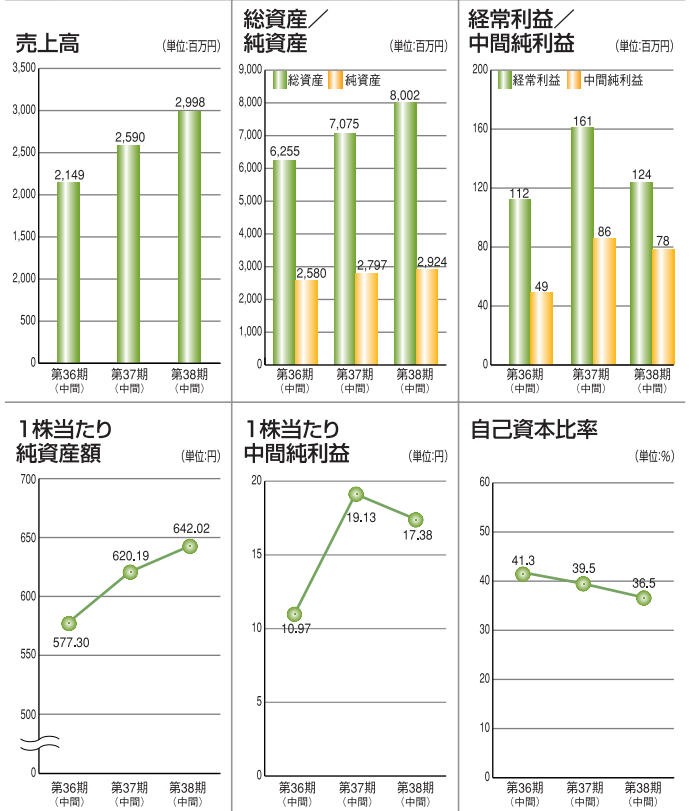
ASA COLOR

株主
間通信

第38期中間
平成19年4月1日～9月30日

株式会社朝日ラバー

中間連結決算ハイライト



当社第38期中間の連結業績は、売上高は29億9千8百万円(前年同期比15.7%増)となり、中間期で6期連続の増収となりました。利益面については、開発製品において、顧客の生産・販売計画の変更による量産開始と納入時期の遅れ、また、昨年竣工した白河工場の本格稼働を見据えた人員確保による労務費の増加、将来に備えた設備投資による減価償却費の負担増等による売上原価の上昇により、営業利益は1億5千2百万円(前年同期比13.3%減)、経常利益は1億2千4百万円(前年同期比22.8%減)、中間純利益は7千8百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

第38期通期の連結業績は、中国・東莞工場の生産増や開発製品の受注増により、売上高は62億3千万円(前期比17.2%増)、営業利益は4億9千8百万円(前期比24.6%増)、経常利益は4億2千9百万円(前期比14.4%増)、当期純利益は2億5千万円(前期比41.6%増)、1株当たり当期純利益は54円89銭を見込んでおります。

「環境報告書2007」を発行しました。

2006年度の環境活動をまとめた「環境報告書2007」を発行いたしました。

2006年度の主な環境活動は、

- ・ゴム屑のリサイクルの仕組みを導入することで、廃棄物量を大幅に削減し、2009年3月までに売上換算で30%削減の目標に対し、初年度で40%削減を達成。
- ・蛍光X線分析装置を導入し、原料から資材まで約1000点の分析を実施し、特定有害物質の含有がすべて規定数値以下であることを確認。

また、地域社会への貢献活動についても、卓球大会の協賛や泉崎村への寄付、そして最寄り駅の清掃活動がJR東日本から表彰されるなど、地域に根ざした活動を継続して続けています。

「環境報告書2007」は当社ホームページ (<http://www.asahi-rubber.co.jp>) からダウンロードできます。また、より多くの方にご覧いただくため、企業のCSR関連報告書を無料請求できるWebサイト

「エコほっとライン」 (<http://www.ecohotline.com>) への掲載、全国の国公立図書館への配布などを行っています。

これからも継続的な情報開示に努め、誠実な対応をもって社会の環境対策に貢献していきたいと考えています。



◀「エコほっとライン」の画面

電波測定用全身人体ファントム「ラバーファントム」を開発

10月5日、電波測定用の全身人体ファントム「ラバーファントム」を開発についての記者会見を行いました。

「ラバーファントム」は、携帯電話や無線機など電波を発信する機器が、どのように電波を放射しているかを測定するための人体です。シリコンゴムをベースに、材料のカーボンナノチューブ等の配合比率を任意に変化させることで、顧客の要望する電気特性を持たせることができます。また、単独で直立する

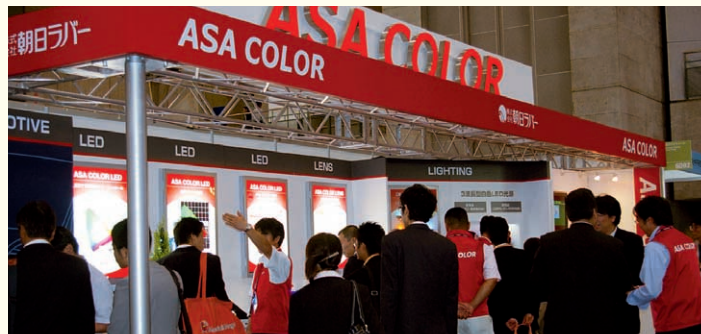
ことができ、上半身、下半身、腕、手首など、パーツごとに分解することができるため、人体の動作を想定した測定を行うことができます。

当社では、2008年4月からの量産化に向け、生産体制を整える予定です。

記者会見場では記者から多くの質問がありました



CEATEC JAPAN2007に初出展



▲赤のイメージで統一したブースに多くの来場がありました

10月2日から6日までの5日間、幕張メッセで開催されたCEATEC JAPAN2007に、ASA COLORブランド製品を紹介するブースを出展しました。大規模展示会への出展は、今年3月のライティングフェア2007に次いで二回目となり、光デバイスに应用する製品群であるASA COLORブランド製品の知名度の向上と今後の事業展開の広がりのきっかけとして、この展示会に出展しました。

5日間の期間中、当社ブースには1,300人ほどの方に来場いただきました。特殊照明や一般照明分野へのLEDの活用やレンズに関する技術的な相談件数も多く寄せられ、今後の営業活動に大いに役立てられる展示会出展となりました。

株主向け白河工場見学会開催

10月26日、株主の皆様を対象に、昨年竣工した白河工場の見学会を開催しました。

平成19年3月末時点の全ての株主の皆様に対し、6月28日にご送付した決議通知に同封して、白河工場見学会の開催をご案内いたしました。株主の皆様向けの工場見学会は、当社にとって初めての試みですが、工場見学を通じて、より深く当社を理解していただくことを目的に企画いたしました。

当日は、雨天というあいにくの天候にもかかわらず、6名の個人株主の皆様にご参加いただき、ゴムキャップの製造工程やクリーンな環境で生産している主力製品のASA COLOR LED、ASA COLOR LENSの製造現場を見ていただきました。

エントランスにはCEATEC JAPAN2007に使用した製品紹介を展示しており、生産現場と合わせて見学いただき、様々なご質問とご感想をいただきました。

多くの株主の皆様に、当社の事業活動をご理解いただけるよう、来期以降も企画してまいりたいと考えています。

10月18日には、機関投資家・アナリスト向けに白河工場見学会を開催しています。当社事業の理解を深めていただくためのIR活動を今後とも続けてまいります。



◀白河工場の全景



◀株主の皆様は製造工程を説明する田崎技術グループ部長へ中央